

家具等転倒防止対策推進フェア及びあいち防災フェスタ・防災＆ボランティアフォーラムを開催しました！



南海トラフ地震などの大規模災害に備え、地域の防災力を高めるために、県民や自主防災組織、企業、ボランティア等が連携し、一体となって防災対策に取り組む防災協働社会の形成を推進することが重要となっています。

こうした中、防災意識の向上や災害ボランティア活動への理解の促進を目的とする家具等転倒防止対策推進フェア及びあいち防災フェスタ・防災＆ボランティアフォーラムを「あいち地震防災の日」である平成27年11月8日（日）に久屋大通公園（久屋広場）で開催しました。

オープニングセレモニーでは、防災活動に積極的に取り組み、地域防災力の向上に貢献した自主防災組織等の11団体に対して、防災貢献団体表彰を行いました。

セレモニー終了後は、手裏剣戦隊ニンニンジャーのショーや名古屋市消防音楽隊によるライブステージが行われたほか、岩手県沿岸広域振興局による岩手復興写真展、陸上自衛隊による豚汁の炊出しを始め、各ブースにおいて災害時に役立つ知識の紹介や津波・大規模風水害対策車を始めとする防災関係車両の展示などが実施されました。

親子で来場された方も多くみられ、子どもからお年寄りまでが楽しみながら防災に関心をもっていただくきっかけとなりました。



大村知事あいさつ



家具固定推進コーナーを見学する大村知事



名古屋市消防音楽隊による演奏



豊橋防災ボランティアコーディネーターの会による防災かみしばい



岩手県沿岸広域振興局による岩手復興写真展



災害時従事車両の展示

平成27年度 愛知県防災貢献団体表彰受賞団体の取組を紹介します！

五色園区自主防災隊（日進市）

日進市内で初めて設立された自主防災組織であり、小学生による通学路の防災マップ作り支援や「防災広報車」などを独自で整備しています。平成27年には、防災功労者として内閣府より防災担当大臣表彰を受賞しました。

下地自主防災会（豊橋市）

古い町並みが存在する地区であるため、水防工法訓練、火災延焼防止のための初期消火訓練、水難救助訓練などの地区の特徴に合わせた防災訓練を実施しています。

瀬木区自主防災会（常滑市）

地域住民の普及活動として住民が参加できるような講演会を毎年実施しています。また、平成24年度には、「瀬木区津波被害予想地図」の作成および全戸配布を行いました。

玉貞東区自主防災会（武豊町）

防災情報誌「防災だより」を作成し、区内の各家庭へ配布しています。玉貞東区ホームページを開設し、防災マップや防災だよりをダウンロードできるようにし、防災訓練等の情報を周知する場として活用しています。

豊田市自主防災会連絡協議会（豊田市）

防災訓練を研修会や地元イベントと合同で実施することにより、幅広い市民が訓練に参加できるように工夫しています。とよた防災フェスタ実行委員会のメンバーとして防災に関する啓蒙活動を行う場の提供に尽力しました。

福釜町自主防災会（安城市）

より多くの住民が訓練に参加できるように、町全体での防災訓練実施に加え、組単位でも防災訓練を実施するなど訓練回数を年々増やし、地域のお祭りにも防災訓練を導入しています。

丸山地区自主防災会（犬山市）

防災訓練に幅広い年代の住民参加を増やすため、児童を対象にストローとクリップを使って簡単な家の模型を作るストローハウス作りや子供用防災学習ビデオを使って、防災啓発をしています。

柳原〈助け合い隊〉（大治町）

標高が低く、集中豪雨時に床下浸水等の被害が発生する恐れがあるため、平成25・27年度に柳原地区の希望者へ土嚢を配布しています。また、平成26年度には水害手づくりハザードマップを作成し、配布しました。

百合ヶ丘自治会防災対策部（東海市）

発足以来「ぼうさい百合ヶ丘」を通じて、住民への防災意識の普及を継続して行っています。また、毎年数多くの防災訓練を実施し、幅広い年代が参加できるように子供向け防災クイズやビンゴゲームを取り入れています。

あいち防災リーダー会いちのみや支部（一宮市）

市や市消防主催のイベントにおいて啓発活動を実施しています。また、一宮市主催の自主防災リーダー研修会ではHUGやクロスロードのファシリテーターを担当し、サポートをしています。

豊橋防災ボランティアコーディネーターの会（豊橋市）

豊橋市が主催する災害ボランティアコーディネーター養成講座の講師及びコーディネーターを担当し、サポートをしています。また、豊橋市のみならず愛知県内各地から活動要請を受け、防災ボランティネットワークの構築に努めています。



平成27年度愛知県防災貢献団体表彰受賞の様子（あいち防災フェスタにて）

あいち防災協働社会推進協議会から



今回は、新たにあいち防災協働社会推進協議会委員に就任されました、一般社団法人日本損害保険協会中部支部事務局長の吉澤篤史様並びに愛知県生活協同組合連合会会長理事の山本哲夫様にお話を伺います。

一般社団法人日本損害保険協会中部支部とはどのような団体ですか。

一般社団法人日本損害保険協会中部支部は、「わが国における損害保険業の健全な発展および信頼性の向上を図ることにより、安心かつ安全な社会の形成に寄与する」という目的を実現するため、損害保険会社を会員とする事業者団体として、愛知県、静岡県、岐阜県、三重県で活動を行っている団体です。

具体的には、消費者の皆様への損害保険の普及啓発・理解促進のための活動、損害保険のノウハウを活かした防災・防犯・交通安全に関する取組など幅広い活動を行っています。



一般社団法人日本損害保険協会中部支部 吉澤篤史 事務局長

一般社団法人日本損害保険協会中部支部の防災に対する取組を教えてください。

中部支部では、南海トラフ地震に備えて、地域防災力の向上を図るため、防災教育や地震保険の加入促進に取り組んでいます。

防災教育では、子どもたちを起点として地域防災力の向上を図るため、小学生がまちを探検しながら避難所や災害時に危険となりそうな場所などを発見して「ぼうさいマップ」にまとめるという「ぼうさい探検隊」の取組を推進しています。

また、地震保険の加入促進では、南海トラフ地震のリスクや地震保険の必要性を消費者の皆様へ理解してもらうための啓発活動に取り組んでいます。

今後も引き続き、防災・減災カレッジへの講師派遣やあいち防災フェスタへの出席など、あいち防災協働社会推進協議会の活動を通じて、地域防災力の向上を図るとともに、安心で安全な社会の実現に向けて、取り組んでいきたいと考えています。

愛知県生活協同組合連合会とはどのような団体ですか。

愛知県生活協同組合連合会は、昭和27年に設立され、現在38生協が加盟し、組合員も250万人を超える規模です。連合会は、それぞれの会員生協がもつ特長を活かしたネットワークづくりをすすめ、会員生協と共に、食の安全・安心を始め、防災、福祉、環境、地域安全など、様々な分野の活動に取り組んでいます。

また、会員生協の運営に関する必要な指導、連絡、調整を行い、生協の事業に関する知識の向上を図り、人材育成に対応するために、学習会や研修会、県内外の優良生協の訪問見学会を実施しています。

さらに、行政主催の審議会や協議会にも積極的に参加して、行政と連携し、安心して暮らせる地域社会づくりに積極的な役割を果たしています。

愛知県生活協同組合連合会の防災に対する取組を教えてください。

防災・減災への取組につきましては、平成14年に愛知県と緊急時の物資協定を締結し、毎年のメンテナンス、県の総合防災訓練に物資搬入訓練で継続参加しております。

また、東海エリアでは、いつあってもおかしくないと言われている大地震の発生に備え、日本生協連と東海版広域地震対応マニュアルを策定する等、連合会と会員相互の防災・減災体制の維持強化を行っています。

災害関連技能の向上を図るため、衛星携帯電話等の非常用通信機器の訓練や連合会と会員生協との防災訓練を定期的で開催して、愛知県内生協の防災対策本部としての機能維持・強化を行っています。



愛知県生活協同組合連合会 山本哲夫 会長理事